

川島グループ

売上高・利益とも最高

22年3月期 相場高・非鉄堅調で

非鉄総合商社、川嶋（浜松市西区）を中心とする川島グループ（川嶋義勝代表）は、2022年3月期の連結決算（速報ベース）が売上高で約800億円、経常利益で約45億円になる見込みであることを明らかにした。売上高、利益共に過去最高を予測。非鉄・貴金属相場の高騰や非金属事業が堅調推移したことなどが要因となり、収益を押し上げた。



川嶋代表

今期売上高100億円目標

算時期に差異があるため概算での計上になる。21年度は当初、売上高で720億〜730億円、経常利益で35

億円前後を見込んでいた。だが、世界的な資源

品不足、ロシアのウクライナ侵攻などを受け、アルミなどの非鉄

獲得競争の激化や半導体などに代表される部

や貴金属の価格が歴史的な水準まで高騰。そ

れにより非鉄や貴金属に関連した事業で前期よりも高水準な利益確保を予測している。加えて新型コロナウイルス禍でのゴルフ需要の拡大で、レジャー事業の収益が大幅に増加し、利益に貢献した。それを受け、同グループの経常利益は10億円ほど当初想定を上回る見込みだ。なお、2

023年3月期は、2014年の創業50周年時に10年先の目標として掲げた売上高1000億円、経常利益50億円の前期比での達成を目指す。

同グループはアルミ精錬や貴金属スクラップのリサイクル・リユースなど非鉄金属関連分野で、幅広く事業を展開する総合非鉄リサイクル企業グループ。近年では不動産、レジ

ャー、介護など金属以外にも幅広い分野で事業を展開している。